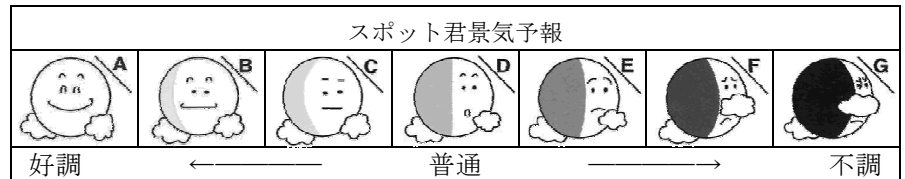


2. 目黒区内中小企業の景況（平成 25 年 7～9 月期）

（1）今期の特徴点



製造業



製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 15.4$ で前期比 1.4 ポイント増と水面下ながらわずかに改善した。売上額は $\Delta 10.6$ で 5.7 ポイント増、受注残は $\Delta 10.5$ で 1.5 ポイント増、収益は $\Delta 13.8$ で 3.9 ポイント増と、いずれも改善した。今期の製造業は、売上額、受注残、収益の全てにおいて 3 期連続で回復し、業況も 3 期連続で上向き、厳しさが和らいだ。来期の見通しについては、売上額、受注残ともに横ばい、収益はわずかに改善となり、業況は前期並の見込みで水面下に変化はない。

価格動向については、販売価格は $\Delta 8.8$ で 5.0 ポイント増とやや上昇に転じ、原材料価格は 12.5 で 0.8 ポイント増とほぼ横ばいとなった。在庫は $\Delta 2.4$ で 1.2 ポイント増と前期より適正水準に近づいた。来期の見通しについては、販売価格は今期並で、原材料価格は上昇がわずかに弱まり、在庫は今期並の水準が続く見込み。

資金繰りは $\Delta 14.3$ で 2.3 ポイント増とやや窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 15.6$ で 6.6 ポイント減と大きく悪化した。借入をした企業は 15.0% で 0.8 ポイント減とほぼ横ばいとなり、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 3.0% で 3.1 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期並となり、借入をする企業はわずかに減少し、設備投資を実施する企業もやや減少する見込み。

経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 59.0% となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 48.0%、3 位は「利幅の縮小」で 29.0%、上位 3 位までに順位に変動はなかった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 65.0% となった。次いで 2 位は「販路を広げる」で 61.0%、3 位は「情報力を強化する」で 23.0% となった。

卸売業



卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 9.7$ で 7.8 ポイント減と大きく悪化した。売上額は $\Delta 3.6$ で 17.7 ポイント減、収益は 0.6 で 6.4 ポイント減とともに大きく悪化した。今期の卸売業は、売上額、収益ともに悪化に転じ、業況も大きく悪化に転じ低迷した。来期の見通しについては、売上額はやや悪化し、収益は再び水面下となり、業況は多少悪化する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 5.4$ で 9.6 ポイント減、仕入価格は 6.8 で 17.2 ポイント減といずれも 4 期ぶりに大幅に悪化した。在庫は 1.3 で 1.8 ポイント減と適正範囲となった。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格ともにほぼ横ばいで推移し、在庫は今期並の水準が続く見込み。

資金繰りは 1.4 で 11.5 ポイント増と大きく改善し窮屈感を脱した。借入難易度は 4.4 で 13.0 ポイント減とかなり苦しくなり、今期借入をした企業は 21.4% で 3.6 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 7.1% で横ばいとなった。来期の見通しについては、資金繰りはわずかに悪化し、借入をする企業は大きく減少する見込み。設備投資をする企業については横ばいで推移する見込み。

経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 50.0% となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 46.4%、3 位は「利幅の縮小」で 25.0% となった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 53.6% となった。次いで 2 位は「販路を広げる」で 50.0%、3 位は「情報力を強化する」で 39.3% となった。

小 売 業



小売業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 25.4$ で8.4ポイント減と大きく悪化した。売上額は $\Delta 13.3$ で4.6ポイント減、収益は $\Delta 17.9$ で2.1ポイント減と、ともにやや悪化した。今期の小売業は、売上額、収益ともに減少に転じ、業況も大きく悪化に転じた。来期の見通しについては、売上額はやや悪化するが、収益はわずかに持ち直し、業況は水面下ながら大きく改善する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 6.2$ で0.9ポイント増とほぼ横ばいで推移した。仕入価格は5.7で1.6ポイント減と2期連続で上昇が弱まった。在庫は4.5で4.5ポイント減とやや過剰感が緩和した。来期の見通しについては、販売価格はほぼ横ばいで推移し、仕入価格はわずかに上昇、在庫は今期同様の過剰感が続く見込み。

資金繰りは $\Delta 22.3$ で10.9ポイント減と大きく減少し、厳しさが増した。借入難易度は0.0で11.2ポイント減と大幅に減少し、今期に借入をした企業は5.5%で3.1ポイント減少した。設備投資をした企業は5.5%でほぼ横ばいとなった。来期の見通しについては、資金繰りはわずかに厳しさが和らぎ、借入をする企業は8.9%とやや増加し、設備投資をする企業は5.7%とほぼ変化なく推移する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で49.1%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で40.4%、3位は「大型店との競争の激化」で22.8%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で63.2%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で35.1%、3位は「宣伝・広告を強化する」で24.6%となった。

サービ ス 業



サービス業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 19.7$ で3.8ポイント減とやや悪化した。売上額は $\Delta 17.7$ で8.7ポイント減、収益は $\Delta 16.7$ で5.1ポイント減と、ともに大きく悪化した。今期のサービス業は、売上額、収益のいずれも減少に転じ、業況も悪化に転じ落ち込んだ。来期の見通しについては、売上額、収益ともに大幅に回復し、業況は水面下ながらもやや改善する見込み。

料金価格は $\Delta 9.5$ で5.9ポイント減と大きく下降し、材料価格は9.1で2.6ポイント減とわずかに上昇が弱まった。来期の見通しとしては、料金価格、材料価格ともほぼ横ばいで推移する見込み。

資金繰りについては、 $\Delta 11.3$ で1.3ポイント増と前期並の厳しさが続いた。借入難易度は $\Delta 6.0$ で1.3ポイント増加し、前期並となった。借入をした企業は16.4%で5.9ポイント増加した。設備投資をした企業は前期12.7%から10.0%となった。来期の見通しについては、資金繰りはほぼ変化なく推移し、設備投資をする企業は今期並で、借入をする企業はかなり減少する見込み。

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で52.5%、2位は「同業者間の競争の激化」で47.5%、3位は「利幅の縮小」で18.0%、4位は「人手不足」が13.1%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で45.9%、2位は「販路を広げる」で41.0%、3位は「宣伝・広告を強化する」で21.3%となった。

建設業



建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 2.5$ で12.9ポイント増と大幅に改善した。売上額は $\Delta 1.0$ で1.3ポイント減と前期並で推移、収益は $\Delta 3.0$ で8.7ポイント増と増加傾向が続き、施工高は $\Delta 2.0$ で0.7ポイント増と前期並となり、受注残は $\Delta 0.2$ で2.6ポイント増とわずかに改善した。来期の見通しについては、売上額は大きく改善し、施工高は横ばい、受注残、収益ともに水面下を脱し、業況はやや持ち直す見込み。

請負価格は2.1で4.2ポイント増と改善し、材料価格は19.7で3.3ポイント減とやや下降した。在庫については0.9で0.8ポイント減とほぼ横ばいで推移した。来期の見通しについては、請負価格は今期並で推移し、材料価格はやや上昇が弱まる見込み。

資金繰りについては、 $\Delta 9.9$ で5.8ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 15.0$ で4.2ポイント悪化し、借入をした企業は26.7%で2.9ポイント増加した。設備投資については、実施した企業は6.8%で2.7ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りはやや窮屈感が強まり、借入をする企業はかなり減少すると見られる。設備投資を実施する企業はやや減少する見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で53.3%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で40.0%、3位は「利幅の縮小」で22.2%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で73.3%となった。次いで2位は「販路を広げる」で62.2%、3位は「技術力を高める」で24.4%となった。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

